

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： フォトニクス先端融合研究拠点

代表者名： 宮原 秀夫

所属機関名： 大阪大学

コメント

大阪大学のこれまでの実績を結集してフォトニクス先端融合研究センターを設立し、日本のフォトニクス研究の拠点とする構想は説得力がある。日本が競争力を持つ光学の分野を、ナノ、材料、分析、ものづくりの面から一層強化しようという意図は評価できる。研究テーマも具体性があり、大阪大学の研究ポテンシャルによる世界トップレベルを目指す拠点化構想として期待される。研究、イノベーション、人材育成のバランスが取れた拠点化構想となっている。フォトニクスを中核にして3領域を融合させる高レベルの拠点化構想である。よく準備された計画であり、「相互浸透型産学協働システム」による協働機関との協力体制も評価できる。

但し、融合的要素が少なく、フォトニクスの深化をめざしたものであり、融合領域という視点では新規性に欠ける。産業化の領域もICT、医療産業と斬新性に欠ける。イノベーションの創出の視点がほしい。具体的な研究目標も拡散している感があり、スタート後の絞り込みも必要であると考えられる。早期のテーマの絞り込みを念頭に置き、3、7、10年後における達成目標を明確にした研究計画を再検討されたい。また、「相互浸透型産学協働システム」により融合領域の創出が機能しているか検証の上、より適切な運営方法となるよう検討を進めていただきたい。